



かけはし



文責：小倉

一年間の折り返し ～前期終業式～

4月8日にスタートした令和6年度も、早いもので折り返しである「前期終業式」を迎えます。年齢を重ねると年々月日がたつのが早く感じ「あっ」と言う間の半年間でしたが、子供たちにとってはどんな半年だったのでしょうか。



「創造 新生不知火小 ～自分たちの手で 仲間とともに～」を、学校の目標に掲げ、「主体性」や「協働性」を大切にしながら、学びを積み重ねてきました。

前期には、「入学式」「修学旅行」「集団宿泊教室」等の大きな行事だけでなく、委員会活動や日々の学級での学習の積み重ねなど、充実した活動がありました。この前期の様々な学びや経験が子供たちの力になっていることだと信じています。



宇城市では、今年度も前期終業式の翌日から5日間の「秋休み」を設定してあります。この休みの間に、前期の自分の頑張りの成長を振り返り、後期の夢や目標をイメージする時間としてほしいと思います。

御家庭でも、子供たちの頑張りの足跡を記した通知表をもとに、お子さんの頑張りを確認し、後期の成長への動機付けをお願いいたします。

読書の魅力 読書のすすめ！

～「くまもとe-books」利用できます～

自分の子育てで「うまくいった」と感じることはなかなかないのですが、一つだけ「よかったんじゃないかな」と感じる場合があります。それは本です。子供たちがいつでも本を手にとれるような環境を整えることに努力しました。ジャンルを問わず、子供たちが読める

ような様々な本を家族が集まる部屋に置きました。そしてたまにですが、親子で本を読んだりしました。性格は全く違う娘と息子ですが、どちらも自然と本に親しむ習慣ができたように感じています。お陰で、デジタル社会で大人になった今でも、様々な本と出会い、新しい知識や考え方に触れることができているようです。

不知火小学校は、蔵書数が1万2千冊を超え、図書司書の植田先生が常駐しているという恵まれた環境にあります。お陰で、図書館は他校には見られないほどのすてきな空間になっています。また、校区内には、これまた他の市町村ではお目にかかれないすてきな公立図書館もあります。



今年は更に熊本県電子図書館「くまもとe-books」

で、スマホやPCでも、熊本県立図書館の本が読めるようになりました。「子供たちがいつでも本を手に入れる環境」が、今までよりもっと身近になったようです。

(詳しくは、本日配付した案内をご覧ください)

是非御家庭でも、お子さんが今どんな本に興味あるのか話題にされたり、親子読書に挑戦したり、秋の夜長に読書を楽しんでください。

